

香蘭女学校中等科・高等科



外観

1888(明治21)年に設立された「香蘭女学校」は、東京都品川区に所在する中高一貫教育のミッションスクールである。キリスト教の精神を教育の基盤に置きながら、日本人としての心を育む伝統の教育を大切にしている。



本館1Fトイレ 入口

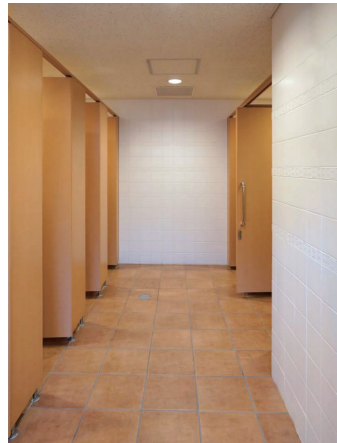
トイレサインは、どの方向からでも見やすく、わかりやすい、側面を持った立体のデザイン。校内のサインは、各教室共通のデザインで統一されている。



本館1Fトイレ 洗面コーナー

ナチュラルな木目調のパネルと鏡のフレーム、テラコッタ調の床タイルが、温かみを感じさせるトイレ空間。上部の窓から差し込む自然光により、明るく気持ちのよい設えとなっている。

トイレ図面



本館1Fトイレ 大便器コーナー

今回改修された大便器は、連続洗浄が可能なパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用。ブースの奥には手荷物が置けるよう、棚が設置されている。



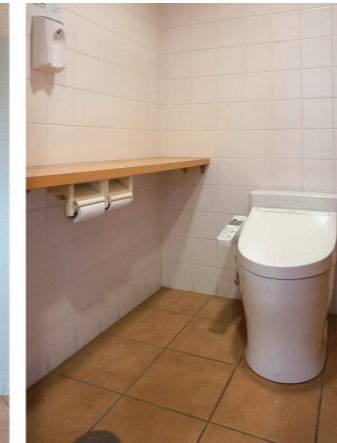
本館2Fトイレ 入口

トイレの洗面コーナーとは別に設けられている入口前の手洗いコーナーは、多目的に使用することができる。また、広々としたトイレ内には、生徒が身繕いをしやすいように全身鏡を設置している。



本館2Fトイレ 大便器コーナー

コーナー手前の1ヶ所に、広々とした大便器ブースを設置。幅の広い棚が設置されており、大きな荷物を持っている場合でも安心して使用することができる。



水まわりの特長

改修の経緯

東京都品川区にある「香蘭女学校中等科・高等科」は、中高一貫教育のミッションスクール。英国の宣教師により1888(明治21)年に設立され、以来130年以上に渡り、キリスト教の精神を教育の基盤に置きながら日本人としての心を育む伝統の教育を大切にしている。ナチュラルで温かみのあるトイレは、直近の改修工事によって、すべて和式便器からロータンク式の洋式便器に変更され、かつウォシュレットも設置されていたが、「大便器の水の流れが悪い」「タンクに水がたまるのに時間がかかる」という困りごとがあがっていた。そこで、高等科の生徒会委員が全校生徒にアンケートを行い、結果を学校側に相談したことで、このたび、大便器を交換する改修工事が実施された。

トイレの特長

従来設置されていた大便器の洗浄は、タンクに水がたまるのに時間がかかり、連続して利用する際にスムーズに洗浄ができず、回転率が悪かった。また、イベント時などにトイレの利用者が多くなると、建物の貯水槽の水がなくなるという声があがっていた。それを解決するため、今回の改修にて、節水性とデザイン性に優れた4.8L洗浄のパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式へと改修。これにより、複数台同時に洗浄しても水圧の変動が小さく、連続洗浄が可能となった。また、東館トイレの洗浄リモコンには、電源不要で押すたびに発電するエコリモコンを選定している。

建築概要

名称	香蘭女学校中等科・高等科
所在地	東京都品川区旗の台6-22-21
施主	学校法人 香蘭女学校
設計・施工	株式会社城口研究所(本館) 大木リフォーム株式会社(東館)
竣工年月	(改修)2022年9月
敷地面積	15,651㎡
建築面積	4,663.4㎡(本館) 1,922.7㎡(東館)
延床面積	13,990.2㎡(本館) 9,613.5㎡(東館)
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地上3階(本館) 鉄筋コンクリート造・地下1階、地上4階(東館)

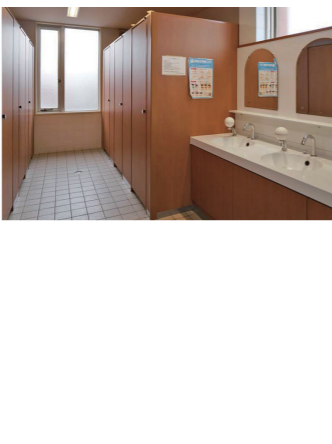
おもなTOTO使用機器

パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS498BK
ウォシュレットP:TCF588、TCF589A
棚付二連紙巻器:YH701



東館トイレ

東館のトイレはイベント時に男性トイレとして使用することがあるため、トイレサインは男性用サインをマグネット素材とし、上から貼ることができる。大きな窓が特長の明るい空間となっている。



東館トイレ 大便器ブース

連続使用が可能なパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式にウォシュレットPを採用して改修。大便器の洗浄リモコンは、乾電池の交換や配線工事が不要で、押すたびに発電するエコリモコンを選定している。



改修前

改修前の大便器は、タンクに水がたまるのに時間がかかり、連続して次の利用者が使用する際スムーズに洗浄ができず、回転率が悪かった。